

# 轍わだち

2024. 2. 15 NO.162

2024年1月1日能登半島地震以後

## 日本各地で地震多発

能登半島地震以後、石川県能登地方では連日、最大震度1, 2, 3, 4の地震が続いている他、日本各地で地震が起きている。北は北海道から南は沖縄まで。そして、2月14日15日と連日京都でも震度4や3の地震が起きた。14日は下校時刻の3時29分学校周辺は震度3。1階でも相当揺れたため、3, 4階にいた生徒たちは机の下に身を隠し、見回り教員に「怖かった」「震えが止まらない」など。数秒とはいえ地震の怖さを口々に。翌15日も10時10分ごろ震度3を亀岡で、京都市内でも震度2や1の地震が起きた。

### どんな時も、自分の身を守る対策を！

学校内や登下校時に自信が起きたら、「机の下にもぐる」「塀の横を歩かない」など安全確保は当たり前。教室内の防災袋内の品物を再確認したり、家の避難準備を家族で話し合うなど。当たり前  
の減災対策を講じよう。

### 時間が止まっている被災地への支援を

保護者会では、能登半島地震の募金を呼びかけています。現在集まっている金額は37,000円です。事務所に募金箱が置かれていますので、是非ご協力をお願いします。

全国の私立学校連合会では、能登半島地震の被災地の私立学校の被害を受け止め、私立学校への被害支援活動として、全国の学校に、生徒1人100円の募金を呼びかけています。

生徒のみなさんは、100円募金で、同じ私学の生徒や、学校への支援をお願いします。

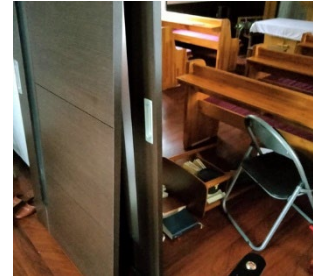


# 能登半島の教会の現状

12月31日の日曜日、主日礼拝を終えてそれぞれの家に戻り、翌日新しい年を迎え、誰もがこの一年の家族の幸せを祈ったことでしょう。帰省して戻ってきた家族との団欒、元日の

夕食を家族と囲む幸せを本当に楽しみにしていました。

ところが、元日の夕暮れを迎える頃、能登半島に大きな地震が起こりました。多くの命が奪われ、長年の思い出が詰まった家もなくなり、懐かしい故郷の風景も変わり果ててしまいました。



先日、金沢市内の教会に電話をすると、教会の牧師先生が電話越しに「金沢市内の教会は平穩を取り戻しつつありますが、輪島方面はまだまだで…」と話されていました。右上の2枚の写真は羽咋教会・富来伝道所の1月7日朝の様子です。また一方で、七尾教会の幼稚園は、海に近い土地柄もあって大津波警報の避難施設として使われ、高齢の方、体の不自由な方、小さな子供がおられる方など、様々な事情を抱えた人たちが身を寄せていたそうです。七尾幼稚園は、地震が起こった場合や大津波警報が出た場合など、保育中に起こった火災以外の災害の場合は、園内避難を行うことの出来る施設として、認定されていたことにも因るそうですが、1日夜は、約120名、2日以降も60名を超える方々が宿泊されましたが、道路状態が良くなった6日朝から、ご親戚の家々にお移りになる方々などが増え始め、7日の夜は、30名ほどの方々が、宿泊されていました。

断水の回復も地域ごとに進捗状況も異なり、道路の分断、医療活動の地域差、倒壊家屋の整備、仮設住宅への移転など課題が山積している状況にある能登に思いを寄せて、身近にできることを探して活動していきましょう。

**私たちと活動しませんか？**

**2月20日（火）7時50分～**

**室町通り校門前で、募金活動を行います。**

**ご協力、お願いいたします。**



先月、中学高校有志が集まって行われた能登半島募金活動の様子